

大規模土砂生産後の流砂系土砂管理のあり方は、通常想定されている規模の自然現象を大きく上回る土砂災害への対処方法を検討。土砂動態の実態把握や予測技術の構築などを進める。これら3件は14年度まで。木造3階建て学校の火災安全性では、実大火災実験などを実施し、火災時の安全性が確保される技術基準を検討する。研究は15年度まで。

40カ所)で観測されたデータを使い、全国の地殻変動の状況を監視しているが、これまでは地震時の地殻変動量(1秒精度の変動量)の計算・解析に最低でも5時間程度かかっていた。

GPS情報提供システム

津波予測へ試行運用

国土地理院

国土地理院は、電子基準点で観測されたGPSデータをリアルタイムで解析し、海溝型巨大地震の際に生じる地殻の変動量を即時に計算するシステムについて、試行運用を6日始めた。マグニチュード8以上の海溝型地震が発生した場合、地震計のデータとは独立して地震の規模や場所を推定する電子基準点(全国12

新システムは、東日本大震災の経験を踏まえて地震時の概略の地殻変動量(10秒精度の変動量)を1分以内に計算・解析し、データを提供することを目指す。精度は従来のシステムより劣るが、巨大地震に伴う大津波の発生予測には役立つという。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| 16. 建設工業 | | |